



子どもたちの声が県政を変える！ 子どもの意見を聞くオンラインプラットフォームを開設しました！

県では、子どもの声を県政に反映する取組を推進している中、その新たな仕組みとしてデジタル技術を活用し、県の政策検討過程において子どもたちに意見聴取を行うオンラインプラットフォーム「にじはぴスイッチ」を7月7日に開設しました。「にじはぴスイッチ」では、投稿された意見の閲覧や県からのフィードバックも一体的に行います。子どもたちのご参加をお待ちしています！

「にじはぴスイッチ」の概要

- 事業の趣旨 子どもたちの声を県政への反映を推進するため、県の政策検討過程において子どもたちに聞きたいことについて、意見聴取からフィードバックまで一体的に行う仕組み
- 対 象 者 県内在住・在学・在勤の小学生から高校生世代の方
- 機 能 意見聴取を行う政策に関する基礎知識を学べる事前学習資料の閲覧
県からの質問に対する自分の意見の投稿
他の子どもたちの意見投稿内容の閲覧およびリアルタイムでの全体傾向の把握
県からのフィードバック資料の閲覧
- 名前の由来 子どもたちの声が滋賀県を変えるきっかけ(=スイッチ)となるようにという思いを込めて命名

意見聴取の内容

- 第一弾
期間 7月7日(火)～8月中旬ごろ
内容
① 滋賀のこれからと幸せについて考える
(第3期滋賀県基本構想実施計画策定に向けた方向性の検討)

(県立高等学校の在り方の方向性の決定)

(滋賀県立美術館整備基本計画の具体化に向けた検討)

順次新たなテーマで意見聴取を実施していき、今年度は15テーマ程度で意見徴収を実施する

1. 滋賀ってどこ？

人がくらす県
のび
 滋賀は139万3,322人が住んでいます。子どもの割合（15歳未満）が全国で2番目に高く、若い人の割合が多い県だということになります。

びわ湖と森
のび
 琵琶湖は県の広さの約6分の1。森林は県の広さの約半分で、陸地の約60％が森林です。「ほとんど琵琶湖？」ではなく、森やまちも広がっています。

長元気
 平均寿命は男性が全国1位、女性が全国2位です（2020年）。

いろいろな人
 外国から来た人や外国につながる人のある人も多く、県民の約31人に1人が外国人です。

来てくれる人
 観光に来る人は5,044万人。びわ湖を自転車で一周する「びわ湖」をした人は2025年に11万5,000人です。

しぜん 自然とくらし
 自然公園の広さの割合は37.3%で全国1位です。びわ湖も公園として考えられています。1人が1日に出すごみの量は761gで、全国で2番目に少ないです。びわ湖や自然を大切にしたいが、行動につながっているのかもしれない。

2. びわ湖しぜんと自然

のび
 琵琶湖は、およそ400万年もの長い歴史をもつ日本最大の湖で、世界中に20ほどある古代湖の一つです。まわりには山や森があり、水と緑に囲まれたいろいろな生きもののすみかです。



伊吹山



三上山



ビロコオナマズ



コハクチョウ

びわ湖だけの生きもの

 とりくみ
  ホーム

きれいな景色



全体傾向把握の一例（ワードクラウド）

事前學習資料



子どもたちが投稿した意見の一覧

※チラシデータ別添